

ciety: Ancient India 兩誌があり、一九五〇年創刊の Journal of Dakkan History and Culture がある。この他に大學や研究所の史學關係の紀要年報の類も此の間に多數創刊されてゐる。

(9) (1) に記した The History and Culture of the Indian People で、既出二卷であるが、全十卷の豫定で、此の叢書出版のためにインド人有力者の間にインド史學會 (The Academy of Indian History) が創設され、全篇インド史學者の執筆である。また、A New History of the Indian People (注(1)参照) も類似的計畫であらう。

なほ、最近には左記のやうなインド人による概説が出てゐる。

K. M. Panikkar: A Survey of Indian History. Bombay 1947.  
Nilakanta Sastri: History of India. Vol. I: Ancient India. Madras 1950; Vol. II: Medieval India. Madras 1951.  
N. K. Sinha and A. C. Banerjee: History of India. Calcutta 1950.

(10) トウグル朝の驛遞制度については、Turks and Afghans (The Cambridge History of India, III), pp. 129-130. を参照。

(12) このことについては、Encyclopaedia of Islam, s. v. 'Panipat'.

(13) インド史の理解上における地圖の重要なことについては、C. C.

マジュムダール、ライチョーダリー、ダッタ三氏共著「高等インド史概説」

和田

Davies: An Historical Atlas of the Indian Peninsula. Oxford 1949. の序など参照。

(お茶の水大學講師)

文學博士 加藤 繁著

支那經濟史考證

卷下 (東洋文庫論叢三四ノ下)

A5版、九六〇頁、圖版一一頁。

定價千二百圓。

本卷には宋代より清代まで及び金時代に亘る論文三十七篇・附錄五篇を收め、他に英文要約・全卷索引・著作者小傳・年譜・著作年表を附す。  
(上巻は古代より唐宋までの論文二十一篇及び「支那古田制の研究」を收む。定價八百圓。)

東京都文京區上富士前町一四七

發行所

財團法人

東洋文庫

振替東京六七〇二二

東京都文京區大塚仲町二

發賣元

株式會社

不味堂書店

振替東京六八七三九